

## 新年のご挨拶

阿尾公民館長 浜本 純雄



明けましておめでとうございます。

現在の人口減少や少子高齢化は、地域のつながりの希薄化や活力の低下を招いていると言われていています。以前には私は、公民館が「地域づくり・人づくりの拠点となる」ことが期待されている」と記しました。

昨年の阿尾公民館の活動は、日々の各講座(教室)は勿論、よくばりウォーキング、料理教室やリンゴ狩りなど多くの方々に参加していただきました。特に公民館祭りでは「ベタンク大会」や学童保育の児童による「お茶席」は大変好評でしたし、保育園の園児や小学校の児童の作品、近くの施設からの作品、個人の趣味や特技の作品、各教室の作品など沢山の作品が展示されました。いつも温かいご支援ご協力を賜り本当にありがとうございます。

さて、昨年1月に発生した能登半島地震の被害は甚大であり、氷見市内においても灯籠が倒れたり、地割れや液状化現象による家屋の傾きや倒壊がありました。1年経った今もお、多くの人が困難に直面しています……が、今年は「巳年」です。蛇は脱皮することからその力強い生命力が「不死」と「再生」の象徴とされてきました。早く復興し、皆が元気になるよう「実(巳)になる年」になればよいと願っております。



## 男性料理教室

12月1日(日)、阿尾公民館で「男性料理教室」が開催されました。初めに血管年齢測定を行いました。次に、家庭科室で、「減塩と野菜摂取で生活習慣病を予防しよう」のテーマで料理を作りました。参加者は28名でした。



## 阿尾保育園生活発表会



11月30日(土)、阿尾保育園で生活発表会が行われました。保護者や家族は、子供たちの成長ぶりに目を細めていました。

## \* 公民館主事の独り言

※参考図書：「やりたいことができる私になる自分貯金」有川真由美著 PHP研究所

『自信』というのは、マイナスの状況のときに諦めず、なんとか乗り越えて続けてきたことで身に付きます。

「悔しい」「負けたくない」「このままでは嫌だ」と自分への不満や、世の中に対する激しい怒りが、自分を突き動かして現状を変える強い原動力になることが多いのです。

困難は、人を強く、優しく、謙虚にしてくれます。

では、大変厳しい体験をした人たちは、どうやって困難を乗り越えてきたのでしょうか。



落ち込んでいるわけではなく、ともかく動き続けることが大事です。淡々と日課をこなす。例えば、顔を洗って、花に水をあげて、料理して茶碗を洗って…「誰も責めていないのに、自分を責めちゃダメよ。自分だけは自分の味方でいなきゃ」

大切なのは、過去でも未来でもなく、今に専念すること。動きながらできるだけ気分が落ちないようにすればいいのです。

## ○ 1月の講座案内

| 講座名           | 曜日      | 開設日                              | 講師・責任者 | 時間              | 部屋 |
|---------------|---------|----------------------------------|--------|-----------------|----|
| 生け花<br>(池坊)   | 第1・3水曜日 | 1月は休講です。                         | 西山栄津子  | 10:00～<br>14:00 | 洋室 |
| かな書道          | 第1・3月曜日 | 6日 20日                           | 猶明 光華  | 13:00～          | 洋室 |
| 学童茶道&<br>百人一首 | 毎週木曜日   | 2日 9日 16日 23日 30日                | 学童支援員  | 15:00～          | 和室 |
| 手芸            | 第3火曜日   | 21日                              | 伏木あい子  | 13:30～          | 和室 |
| 潮華会(新舞踊)      | 毎週土曜日   | 4日 11日 18日 25日                   | 大野 朝子  | 19:00～          | 和室 |
| 潮月会(新舞踊)      | 毎週金曜日   | 3日 10日 17日 24日 31日               | 大野 朝子  | 13:00～          | 和室 |
| 囲碁サロン         | 毎週月・水曜日 | 6日 8日 13日 15日 20日 22日 27日<br>29日 |        | 13:30～          | 和室 |
| フラダンス         | 第1・3月曜日 | 6日 20日                           | 東軒みさ子  | 19:00～          | 和室 |
| 常磐会書道教室       | 第2・4土曜日 | 11日 25日                          | 角 庸子   | 10:00～          | 洋室 |

## ○阿尾公民館からのお知らせ

・1月のふれあいランチは、阿尾地区及び指崎地区は、ありません。

## ○おらっちゃん風土記



阿尾城跡にある白峰社を地区の人は親しみを込めて「コンピラさん」と呼んでいる。かねてからどうして2つの呼び名があるのだろうか。また、白峰社の標柱の下部に、「崇徳天皇」と書いてあるのか疑問だった。私なりに調べた結果についてお知らせします。

崇徳天皇と言えば、百人一首の中に「瀬を早み 岩にせかる 滝川のわれても末に逢はむとぞ思ふ」という歌が有名である。

また、崇徳天皇は、日本の三大怨霊(崇徳上皇、平将門、菅原道真)の中でも最強といわれ、恐れられている。

崇徳天皇は、鳥羽上皇の第一皇子として生まれた。当時は鳥羽上皇の独裁政治が行われていた。崇徳天皇は5歳にして天皇の位についた。父の勧めで、23歳で上皇となるが、鳥羽上皇は強大な権力を手放そうとはしなかった。鳥羽上皇は腹違いの近衛天皇を即位させたが、若くして崩御した。次に鳥羽上皇が即位させたのは崇徳上皇の弟、後白河天皇であった。鳥羽上皇は、27年間院政を行った。鳥羽法皇崩御の直後、崇徳上皇は鳥羽上皇は実子ではないとまことしやかにささやかれた。「崇徳上皇と藤原頼長に謀反の疑いあり」との噂を後白河派の貴族によって流された。



崇徳上皇は、左大臣藤原頼長とやむなく合流し、陣を構えた。午前4時、後白河側の奇襲によって戦いが始まり、4時間ほどで後白河側の勝利で終わった(1156年保元の乱)。捕らえられた武士は、斬首となり、崇徳上皇は讃岐への流罪となった。そして、1164年、都に郷愁をもちながら、崩御した。46歳であった。

※NHKテレビ 「英雄たちの選択」参照

都では、後白河上皇の世になってから天変地異が起きるなど、社会に不安が満ちていた。すると、崇徳上皇の復権を願う者たちから怨霊の存在が語られ出したのである。

後白河上皇は最初全く取り合わなかったが、親族が次々に病に倒れるなど不幸が続くとその存在を認め、対策を講ずるようになった。

幕末には、王政復古を唱える国学者から崇徳上皇の鎮魂が訴えられるようになった。「朝廷の権威が衰え、武家に移ったその根本は、崇徳上皇の怒りにあるのではないか」と…。



怨霊になった崇徳上皇 (歌川国芳)

明治天皇により創建された京都白峯神宮、讃岐から迎えた御霊にささげた祝詞は「天皇と朝廷を末永く守り、奥羽の旧幕府軍を鎮圧し、新政府をお守りくださいますよう」と、

崇徳上皇は700年の時を経て、怨霊から国を守る守護神へと変貌を遂げたのである。

明治天皇は、全国の神社に崇徳天皇を祀るように命じた。その一つが阿尾にもある。崇徳天皇と白峰神社、琴平さん(讃岐)が繋がった。記述に間違いがあったらお知らせください。